長崎医療センター
NAGASAKI MEDICAL CENTER NEWS

専齋 SENSAI

2022 JUNE VOL.403

発行所
独立行政法人国立病院機構
長崎医療センター
〒856-8562
長崎県大村市久原2丁目1001-1
TEL 0957-52-3121
FAX 0957-54-0292



大村湾に浮かぶ世界発の本格的な海上国際空港である長崎空港のインスタ映えスポットに行ってきました！
幸運の羽（つばさ）が幸運の地へ運んでくれるそうです。

診療科紹介 update
Vol.25 高度救命救急センター（救急科）PART.1

医長紹介～私の専門分野～
呼吸器内科医長　近藤 晃
自己免疫研究室長　岡田 覚丈

TOPICS
・新任医師紹介

夏の見学会のお知らせと令和5年度初期研修医採用試験のご案内

看護部だより Vol.42

外来診療担当医一覧表

長與 專齋（1838年～1902年）
大村藩御殿医の家系に生まれる。緒方洪庵の適塾に学び、福澤諭吉の後を襲い塾頭となる。初代衛生局長として我が国の近代医療制度の確立に尽力した。衛生という言葉をはじめて採用したのも專齋である。專齋の生家は「宜雨宜晴亭」と呼ばれ、長崎医療センター敷地内に移築されている。

診療科紹介 Update

Vol.25



高度救急救命センター（救急科）PART.1

1. 施設、沿革

高度救命救急センターは、救命救急センター 16床（熱傷ユニット1床含む）、ICU4床、HCU4床の計24床の病棟と、救急外来で構成されています。

沿革ですが、昭和53年3月国立長崎中央病院時代に、国立病院としてはじめて外科病棟に併設の形で救命救急センター開設となり、昭和54年4月には専用病棟が新築され、平成8年から専属医1名配置の救命救急センターとなりました。平成13年9月の長崎医療センター新築で、現在の救命救急センターとなり、平成18年12月には長崎県ドクターヘリ運航が開始され、平成29年3月に医師同乗救急車EMTAC運用の開始、平成30年4月に高度救命救急センターの指定を受けました。

2. スタッフ

現在専従救急医は15名（長崎大学救急科専門研修プログラム専攻医含む）、このうち救急科専門医は9名、その他内科、外科、集中治療等各分野の専門医がおり、内因性・外因性問わず各種疾患に対して専門性を持った診療を行います。

またDMAT隊員10名、長崎県災害医療コーディネーター 4名、原子力災害医療派遣チーム隊員5名を擁し、長崎県の基幹災害拠点病院、原子力災害拠点病院としての役割を果たします。

3. 診療

高度救命救急センター（救急科）の主な業務内容は以下となります。

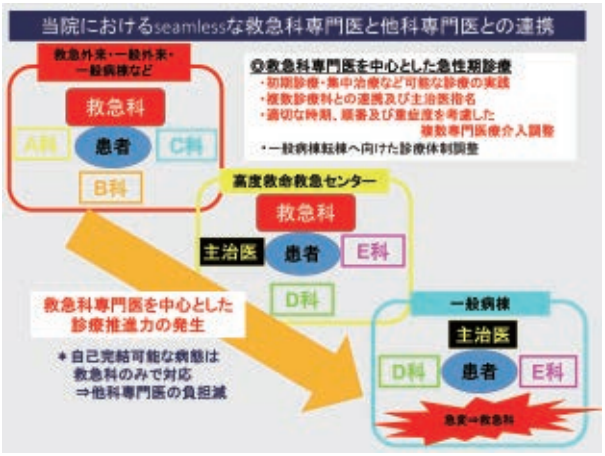
○3次救急医療
○疾患を問わない急性期の診療
○原因疾患を問わない重症病態のクリティカルケア
○緊急度及び重症度を考慮した多職種・複数診療科との連携・調整
○病院前救急診療（ドクターヘリ・医師同乗救急車）の実践
○画像伝送システム及びヘリ搬送を用いた離島救急医療支援
○災害医療即時対応及び中心的役割
○救急医療制度・メディカルコントロール体制・災害医療における教育・指導

院内活動

専従救急医が365日24時間交代制で勤務し、年間約3700件の救急車搬送を含む約10000人の救急患者を受け入れています。このうち約1200名が高度救命救急センター入院となります。（2021年度統計）2022年5月からは8：30から22：00の救急車対応を救急科が行うようになり、急性期患者の診療、トリアージに更に救急医の力を発揮できると思われます。

当院の高度救命救急センターは総合病院併設型で運営され、救急科と各診療科専門医と共同で、緊急度、重症度等に応じた初期診療や集中治療及び専門診療を行い、適切な救急医療の提供を行っています。また一般病棟と連携し、常に重症患者を受け入れることができるように、効率的なベッドコントロールを行っています。

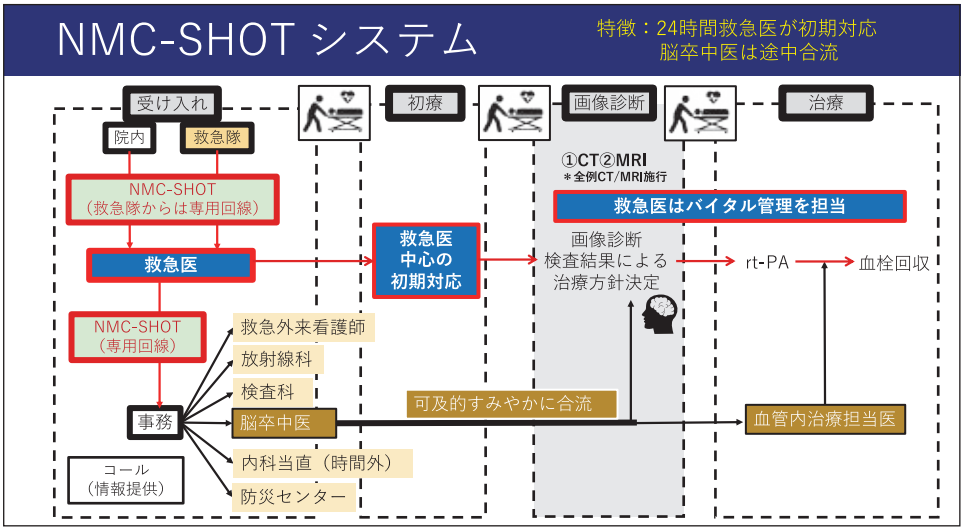
近年話題のチーム医療では、院内迅速対応システムRRSとしてのMET（Medical Emergency Team）や呼吸サポートチームRSTの活動も行っており、院内で横断的に多職種連携を実践します。



高度救命救急センター重篤救急患者数（2021年1月～12月）

疾病名	患者数（人）	疾病名	患者数（人）	疾病名	患者数（人）
病院外心停止	20	重症急性中毒	14	重症急性心不全	37
重症急性冠症候群	28	重症消化管出血	28	重症出血性ショック	11
重症大動脈疾患	25	重症敗血症	59	重症意識障害	18
重症脳血管障害	191	重症体温異常	6	重篤な肝不全	0
重症外傷	142	特殊感染症	4	重篤な急性腎不全	7
重症熱傷	7	重症呼吸不全	51	その他の重症病態	119
				計	767

また脳卒中においては、2014年10月からNMC-SHOT (Nagasaki Medical Center-Stroke Hotline)を導入し、救急医が脳卒中ホットラインを24時間携帯することで患者発生時には関連部署が迅速に連動し、脳梗塞やクモ膜下出血の緊急病態に遅滞なく対応し、急性期脳梗塞における来院からt-PA投与までの時間短縮に効果をあげています。（84分→60分＜NMC-SHOT導入前→後＞）



医長紹介　～私の専門分野～

新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより再認識された感染対策の重要性



呼吸器内科医長　近藤 晃

4月より呼吸器内科医長として赴任しました近藤 晃です。呼吸器内科の中でも、とくに感染症分野が専門になります。呼吸器感染症の話をする中で、新型コロナウイルス感染症のことはみなさんすでによくご存知のところとは思いますが、やはり避けては通れない話題です。

新型コロナウイルス感染症は2019年初旬に中国の武漢で最初の感染者が確認されて以降、わずか数ヶ月の間でパンデミックと言われる世界的大流行を引き起こしました。その後より現在に至るまでの間に、われわれ人類の叡智を結集して、検査方法、治療薬、ワクチン開発、感染対策など様々な形でこの新興感染症に対峙してきました。これらの対策により、パンデミック当初よりははるかに状況は改善したことも事実です。しかし、残念ながら、未だに終息の目処がきちんと立っておらず、混乱の渦中に現在もまださらされています。このように、感染症の流行は単なる疾患の広がりにとどまらず、私たちの社会生活の根幹、人生そのものへも大きく影響をおよぼすことを、今回本当に痛切に経験しました。

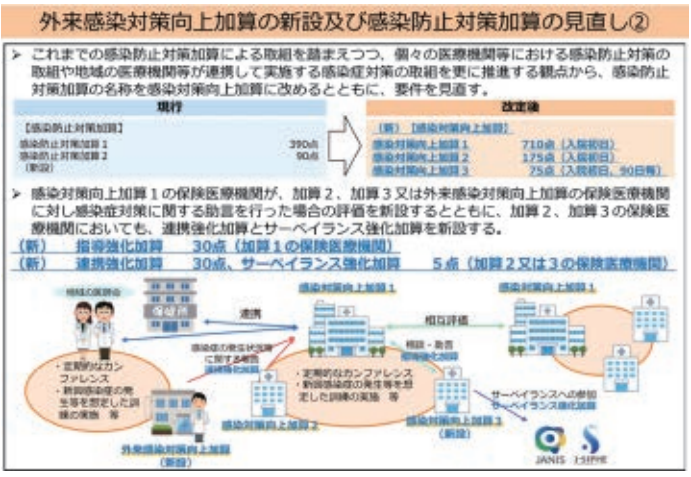
新型コロナウイルス感染症へ対峙していく中で、感染対策の重要性が再認識されることになりました。その結果、今年度より従来の「感染防止対策加算」から「**感染対策向上加算**」へと名称も新たになり、要件を満たせば診療報酬も大幅に強化されることになりました。また、国の第8次医療計画の策定に際しては、従来の救急医療、災害医療、へき地医療、周産期医療、小児医療の5事業に加えて、「**新興感染症等の感染拡大時における医療提供体制の確保**」に関する事項が、新たな重点対策事業に位置づけられるようになりました。加えて、政府の感染対策の司令塔となる「内閣感染症危機管理庁（仮称）」の創設や、このほか医療研究の拠点として国立感染症研究所など2機関を統合し、米疾病対策センター（CDC）をモデルとした「日本版CDC」創設も検討されています。このように、感染対策に求められる要件の増加とともに、その重要性もますます高まっています。

当院での感染対策を語る上で、もうひとつ避けては通れない点があります。ご承知のように多剤耐性アシネトバクター（MDRA）の問題です。現在もなお続くこの問題も当院の最重要課題のひとつであり、引き続きMDRAをはじめとした感染対策に取り組んでいく必要があります。

感染対策は、患者さんも含め、ひとりひとりの全職員の方々の理解と協力無しには成り立ちません。また、非常に“見えづらい”、“分かりづらい”分野でもあります。課題はたくさんありますが、少しでもよりよい方向へ向かうように、みなさまと一緒に取り組んで参りたいと思います。よろしくお願い申し上げます。



出典：厚生労働省 第8次医療計画の策定に向けて



出典：厚生労働省 令和4年度診療報酬改定説明資料

医長紹介　～私の専門分野～

最近の関節リウマチ診療



自己免疫研究室長　岡田 覚丈

2022年4月より膠原病・リウマチ内科で勤務しております岡田覚丈です。前任地では関節リウマチに関する業務が多かったので、ここでは最近の関節リウマチ診療についてご紹介いたします。

関節リウマチは関節破壊をきたしうる慢性炎症性疾患です。疾患の程度や経過はさまざまですが、かつては治療薬も限られ、関節変形が進行する症例も少なくありませんでした。

最近は治療薬も著しく発展し、関節リウマチの成績はかなり改善したといえます。約6000人の関節リウマチ患者を対象とした東京女子医科大学のIORRAコホートによると、生物学的製剤など治療薬の変化に伴い、治療成績が大きく向上していることが分かります（図1）。さらに最近は経口分子標的薬（JAK阻害剤）も使用可能となり、治療の選択肢が増加し、治療抵抗性の症例にもかなり対応できるようになりました。

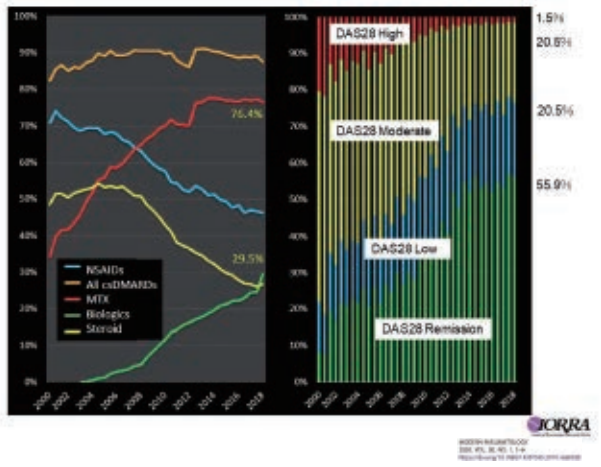
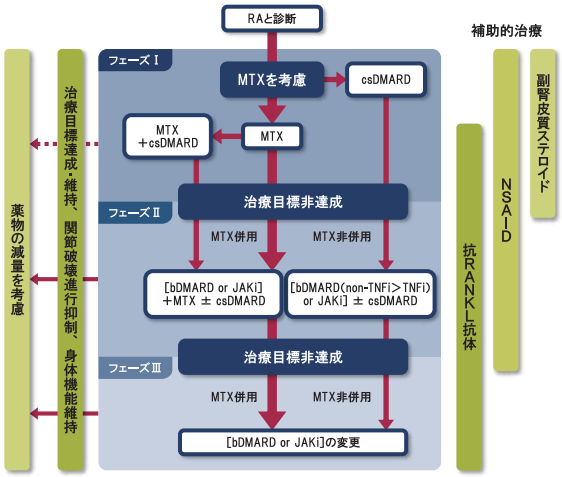


図1. 関節リウマチの薬剤治療と病勢の推移（IORRAコホートより）
生物学的製剤（Biologics,左図の緑線）とメトトレキサート（MTX,左図の赤線）の使用率上昇に伴い、寛解（Remission,右図の緑帯）と低疾患活動性（Low,右図の青帯）の割合が増加している。

治療薬を生かすには治療戦略も重要です。2010年に世界共通の治療指針として「目標達成に向けた治療;treat to target」が提唱され、治療成績の向上に大きく寄与しました。日本でもこれをもとにした治療指針が策定され、ガイドラインにも明示されています（図2）。関節リウマチの治療目標は、寛解（痛みや炎症を抑え、関節破壊を進行させない状態）もしくは疾患活動性が低い状態を維持することであり、QOLおよび生命予後の改善にもつながります。



日本リウマチ学会. 関節リウマチ診療ガイドライン2020, p17. 診断と治療社 より、一部改変

図2. 関節リウマチ診療の薬物治療アルゴリズム
治療目標へ向けての治療戦略が提言されている。

目標に向けた治療調整のためには、適切な病状評価が必要となりますが、そのためには症状、身体所見、血液検査に加え、画像検査も有用です。単純レントゲンはもちろん必須ですが、超音波検査やMRIは早期病変も検出可能で、他疾患の鑑別や病勢評価にも有用です。特に超音波検査は比較的低コストで侵襲もなく、関節リウマチ診療において重要な検査のひとつとなっております（図3）。

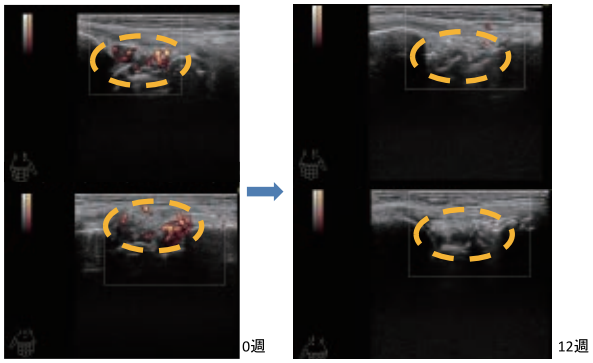


図3. 関節リウマチ患者の関節超音波検査所見（自験例）
治療開始時には手関節滑膜炎所見（点線内）を認めたが、12週後には改善していた。

このように関節リウマチ診療は大きく進歩しましたが、依然として治療困難な症例はあり、また患者の高齢化、薬剤の長期安全性、医療費の問題（分子標的薬は非常に高額）など、課題は多くあります。それぞれの患者さんに最適な治療を提供できるよう、今後も努めていきたいと思います。

新任医師紹介



呼吸器内科医師
原（はら）　敦子（あつこ）

6月より呼吸器内科に赴任しました。長崎医療センターには2年9か月ぶりに勤務致します。県央地域の医療に貢献できるよう、患者さんに寄り添った医療を心がけて頑張っていきたいと思います。どうぞよろしくお願いします。



小児科医師
西口（にしぐち）　亮（りょう）

6月より小児科に赴任しました西口亮と申します。長崎県内で小児科医として勤務後、埼玉医科大学総合医療センター総合母子周産期の新生児部門で約2年間の国内留学をしておりました。長崎医療センターでの勤務は初めてとなりますが、長崎県の周産期医療、小児医療に少しでも貢献できるよう頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



循環器内科医師
福田（ふくだ）　侑浦（ゆうほ）

循環器内科として勤務させていただく福田侑浦と申します。3年ほど前まで勤務させていただいており、今回帰ってくることとなりました。3年前よりは少しでも長崎医療センターに貢献できるように頑張ります。いつもにこにこ、元気に対応できるようにさせていただきますので気兼ねなくご連絡ください。



放射線科医師
武田（たけだ）　達哉（たつや）

6月より放射線治療科に赴任しました武田達哉と申します。長崎大学の放射線科に入局後、先月まで長崎大学病院にて勤務しておりました。長崎医療センターでの勤務は初めてでして、最初は不慣れにてご迷惑をおかけすることも多々あるかとは思いますが、できる範囲で頑張っていきたいと思っております。皆様と関わっていく中で、至らぬところがございましたらご指導承れれば幸いです。これからどうかよろしくお願いいたします。

夏の見学会のお知らせと令和5年度初期研修医採用試験のご案内

夏の医学生見学会のお知らせ

夏の医学生見学会を下記の通り実施いたします。2021年度と同様、当面は感染対策のため見学内容を一部変更しております。ご了承くださいませ。

【対　　象】
医学部　5年生・6年生

【実施期間】
2022年7月5日（火）～ 8月25日（木）
※平日　火曜日～金曜日のみ（8月採用試験日を除く）

【見学内容】
希望診療科見学

6月20日（月）より
HPにて受付開始!!



令和5年度初期研修医採用試験の受験者を下記日程で募集しております。

令和5年度初期研修医採用試験の受験者を下記日程で募集しております。今年度はWEB面接で実施いたします。多数のご応募お待ちしております。

【応募期間】
7月1日（金） から受付開始

【選 考 日】	【締切日（必着）】
第1回：8月 5日（金）	7月25日（月）
第2回：8月12日（金）	8月 1日（月）
第3回：8月19日（金）	8月 8日（月）
第4回：8月26日（金）	8月15日（月）

採用方法：公募により選考をおこなう（マッチングに参加する）
（1）小 論 文：課題について800字程度
課題については願書締切後に郵送で案内予定、指定日までに返送すること。
（2）面接審査（WEB面接）：個人面接で、ひとり20分程度
（3）適正検査：願書締切日以降に郵送予定。
小論文と併せ返送すること。

※詳しくは当院HPをご覧ください。
https://nagasaki-mc.hosp.go.jp/



看護部だより Vol.42

医療安全管理室の紹介

医療安全管理係長　井手 時枝

医療安全管理室には、医療安全管理係長・専従看護師・感染症看護専門看護師・皮膚排泄ケア認定看護師・クラークが配置され、医療の質の向上を目指し活動しています。

今年度より、医療安全は黒木先生が室長です。
また感染対策は吉田先生が室長で
さらにパワーアップです😉

主な活動としては

各部署から提出されるインシデントレポートよりカルテやラウンドで情報を集め分析を行い、改善策の提案・推進を行っています。皆さんから報告を受けた内容は、感染症看護専門看護師や皮膚排泄ケア認定看護師とも情報を共有し連携をとりながら活動しています。また、それぞれ部署でのカンファレンスへも参加し現場からの意見を聞き共に対策を考え提案するなど現場へのフィードバックも行っています。

昨年12月に電子カルテが更新され、全ての電子カルテからレポートが作成できるようになりました。報告されたレポートをタイムリーにアップする事で職員間での情報共有もできます。また、職員へ案内したいことは他部門とも連携し独自の医療安全広報誌としてNewsレターを発行し、各部門への配布・アナウンスを行っています。

当院独自の医療安全広報誌



医療安全推進担当者会議でのGW

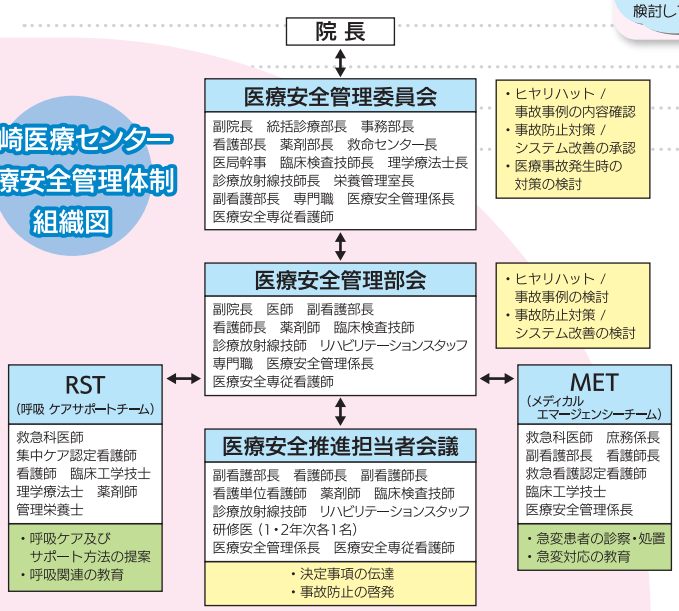


多職種での意見交換を通して分かる事も多々あります

自部署での活動に活かせるように意見を出し、検討しています

今年は転倒転落・5S・患者確認・チューブトラブルでのテーマで活動します

長崎医療センター 医療安全管理体制 組織図



当院がより患者さんにとって安心した療養生活を送ることができ、地域から選ばれるような環境を整えていきたいと思います。

何か、お気付きの事がありましたらいつでもご連絡下さい。<(_ _)>

外来診療担当医一覧表

受付時間　8時30分～11時30分（ただし急患はその限りではありません。）

（★は新患対応）令和４年７月１日現在

		月	火	水	木	金
総合診療科		当番制	当番制	当番制	当番制	当番制
肝臓内科		★末廣　智之 ★松本　耕輔 ★長岡　進矢 ★山﨑　一美	★佐伯　哲 ★釘山　有希 ★末廣　智之	八橋　弘 ★小森　敦正 ★山﨑　一美	★長岡　進矢 ★小森　敦正 ★本吉　康英	★本吉　康英 ★釘山　有希
消化管内科		午前　杉尾　小百合 午後　★西山　仁	★後藤　高介 ★三根　祥一郎	★西山　仁		★中島　悠史郎 （炎症性腸疾患　専門外来） ★今村　祥子
内分泌・代謝内科		★安井　順一 ★中村　公隆 渡部　太郎	★渡部　太郎 安井　順一 中村　公隆	★安井　順一 渡部　太郎	★渡部　太郎 安井　順一	
腎臓内科		★岡　哲 山下　由恵		★池見　悠太 岡　哲	山下　由恵	★山下　由恵 池見　悠太
循環器内科	午前	★於久　幸治	★福田　侑甫	森　彩	★松尾　崇史 ★石松　卓（不整脈）	★深江　貴芸
	午後	★鶴川　晃二郎	★石松　卓（不整脈） ★福田　侑甫	於久　幸治	石松　卓（不整脈）	
呼吸器内科		★原　敦子 池田　喬哉	★森　麻耶子	近藤　晃 ★池田　喬哉	★井手口　周平	★近藤　晃 原　敦子
血液内科	午前	小林　裕児 ★榊　智佳	★坂本　光	吉田　真一郎	坂本　光 ★小林　裕児	吉田　真一郎
	午後					★桐野　祐子
脳神経内科（神経内科）	午前	★徳田　昌紘	★岩永　洋	徳田　昌紘		★岩永　洋
	午後	忽那　史也				
膠原病・リウマチ内科		★岡田　覚丈		★岩永　希	★岩永　希	午後　★岡田　覚丈
小児科	午前	★末永　英世（新生児・乳児） ★桑原　義典（心臓） ★本田　涼子（神経） ★種岡　飛翔（一般・心臓）	★安　忠輝（神経） 田中　茂樹（神経） 本村　秀樹（心臓） ★石橋　洋子（一般・心臓） ★蟹江　信宏（母子・感染症） ★大塚　圭祐（一般）	★青木　幹弘（新生児・乳児） ★和泉　啓（内分泌） 内分泌（当番医） ★本田　涼子（神経） ★島崎　敦（一般・神経） ★種岡　飛翔（一般・心臓）	★桑原　義典（心臓） ★西口　亮（第１・３・５） （新生児・乳児） ★山根　友里子（第２・４） （新生児・乳児） ★大塚　圭祐（一般）	本村　秀樹（心臓） ★青木　幹弘（新生児・乳児） 安　忠輝（神経） ★島崎　敦（一般・神経） ★石川　太郎（新生児・乳児）
	午後	本村　秀樹（心臓） 発達外来	田中　茂樹（神経） ★本村　秀樹（心臓） 安　忠輝（神経）	一ヶ月健診 ★大学医・当番医（内分泌）	発達外来	シナジス外来
精神科		★倉田　青弥 蓬莱　彰士	★倉田　青弥 蓬莱　彰士 志方　有莉	★蓬莱　彰士	★蓬莱　彰士 志方　有莉 倉田　青弥	★志方　有莉 倉田　青弥
皮膚科		★石川　博士（院外新患） 冨野　千愛（対診） ★清原　龍士（第１院外新患） 清原　龍士（第３対診）	★冨野　千愛（院外新患） 石川　博士（対診）	★石川　博士（院外新患） 冨野　千愛（対診）	★冨野　千愛（院外新患） 石川　博士（対診）	★石川　博士（院外新患） 冨野　千愛（対診）
外科		★黒木　保（胆・膵） 岡本　辰哉 （胆・膵、一般外科）	★三好　敬之 （消化器、一般外科）	★北里　周（肝、一般外科）	★米田　晃 （食道・胃・一般外科）	★竹下　浩明 （大腸・肛門・一般外科） 藤岡　ひかる （肝・胆・膵・消化器）
乳腺・内分泌外科			★前田　茂人 ★杉山　望		★前田　茂人 ★杉山　望	
呼吸器外科				★田川　努 ★下山　孝一郎		
緩和ケア科			濵脇　正好	濵脇　正好	濵脇　正好	
心臓血管外科				★有吉　毅子男 ★松隈　誠司 田口　寛子		★有吉　毅子男 ★松隈　誠司 田口　寛子 濵脇　正好（再来のみ）
脳神経外科		★小野　智憲 ★原口　渉	★案田　岳夫	★定方　英作	原口　渉	★小野　智憲 ★川原　一郎
整形外科		★宮本　俊之 中川　皓一朗	山口　圭太（★第１・３・５） （再第２・４） 大場　陽介（★第２・４） （再第１・３・５） 向井　順哉	★森　圭介 熊谷　謙治	★中川　皓一朗 森　圭介	★向井　順哉 大場　陽介（第１・３・５） 山口　圭太（第２・４）
形成外科		★藤岡　正樹 ★出光　茉莉江	★吉野　健太郎	★福井　季代子	★藤岡　正樹 ★吉野　健太郎	★福井　季代子 ★出光　茉莉江
産婦人科		★古賀　恵 ★福田　雅史	★安日　一郎 ★山下　洋	★菅　幸恵 ★杉見　創	★五十川　智司 ★山口　純子	★安日　一郎 ★福田　雅史
				産褥１ヶ月検診（午後）	産褥１ヶ月検診（午後）	
泌尿器科		★大仁田　亨 ★錦戸　雅春		★錦戸　雅春	★岩田　隆寿	★大仁田　亨 ★本多　弘幸
移植後フォローアップ外来		錦戸　雅春		錦戸　雅春	岩田　隆寿	大仁田　亨
耳鼻咽喉科		★田中　藤信 ★松本　浩平 ★松井　彰子	★小野　晋太郎	★田中　藤信 ★松本　浩平 ★松井　彰子	★松本　浩平 ★吉田　晴郎（第１・３）	★田中　藤信 ★小野　晋太郎
眼科		★前川　有紀 時村　源一郎 大槻　早紀 髙尾　美貴	★前川　有紀 時村　源一郎 丸田　知央子（10:00~15:00） 大槻　早紀 髙尾　美貴	中尾　志郎（午後）	★前川　有紀 時村　源一郎 丸田　知央子（10:00~15:00） 大槻　早紀 髙尾　美貴	★前川　有紀 時村　源一郎 大槻　早紀 髙尾　美貴
放射線科（治療）			★中村　太祐 武田　達哉			★中村　太祐 武田　達哉

※紹介状なしで受診を希望される患者さんにつきましては、診察料とは別に、選定療養費として５，５００円をご負担いただきます。
ただし、紹介状がある場合は選定療養費（５，５００円）の負担はありません。「かかりつけ医」等からの紹介状をお持ちいただきますようお願いいたします。

理　念

高い水準の知識と技術を培い
さわやかな笑顔と真心で
患者さん一人一人の人格を尊重し
高度医療の提供をめざす

長崎医療センターの使命

長崎医療センターは以下の活動を誠実に行い、地域拠点病院として住民の皆さんと
医療機関からの信頼を得ることを使命としています。

- 安全で質の高い医療を提供する
- 救急医療の最後の砦となる
- 地域の医療機関、行政と密接に連携する
- すべての医療人と学生に魅力的な教育研修を提供する
- 臨床研究を推進し、国際医療協力に貢献する

長崎医療センター NEWS
NAGASAKI MEDICAL CENTER NEWS
https://nagasaki-mc.hosp.go.jp/
VOL.403